



## ～学校・家庭で育む「ことば」の優しさ～

新学期が始まって1学期も半分を過ぎました。子どもたちは毎日たくさんの「ことば」を交わしながら成長しています。学校では、学習だけでなく、お友達との関わりの中でことばの力を育てていますが、実は子どもたちのことばの土台を作っているのは、他ならぬ「ご家庭での温かい会話」です。

ことばは、時に人を包み込む毛布のようになり、時に人を傷つける刃物にもなります。小学生のこの時期は、大人が思っている以上に、周囲の言葉をスポンジのように吸収しています。

「ありがとう」「助かったよ」そんな肯定的なことばをたくさん浴びて育った子どもは、お友達にも自然と同じような優しいことばをかけられるようになります。逆に、トゲのあることばに触れる機会が多いと、心に小さな不安やイライラが溜まってしまうこともあります。



忙しい毎日の中で、じっくり話を聞く時間を確保するのは難しいかもしれません。しかし、朝の「行ってらっしゃい」に笑顔を添える。話を聴くときに、10秒だけスマホを置いて目を見る。これだけでも、子どもにとっては「自分は大切にされている」という強い安心感（自己肯定感）につながります。

子どもたちの心が優しいことばで満たされるよう、学校と家庭で手を取り合って、温かい言葉の環境を作っていきましょう。

### 《学校の様子から》



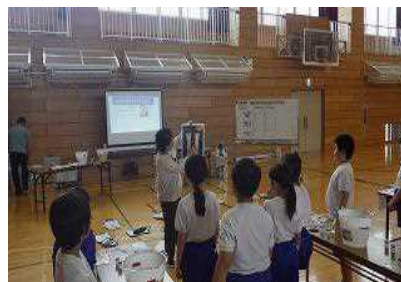
1年生にネッククーラー

株式会社日本キャンパック様より、夏の熱中症対策に活用してほしいと1年生に「ネッククーラー」が寄贈されました。登校時や休み時間・授業で外に出るときに使用できます。



読み聞かせボランティア紹介

本校には、3名の読み聞かせボランティアの方がおります。毎回どんな本を読んでもか子どもたちは楽しみにしています。



4年生エコムーブ号教室

エコムーブ号は、環境に関する教材がたくさん搭載されている移動環境学習車です。今回は水の汚れと温暖化の2本立ての学習でした。自分達ができることを子どもたちは考えていました。